日本薬学会北陸支部会・NPO J-DO 共催特別講演会報告

鍋島俊隆

日本薬学会北陸支部会・NPO J-DO 共催特別講演会「薬剤師に期待する：薬剤師としての生き甲斐を持とう」を金沢市北陸大学キャンパスで、2024 年 3 月 3 日（日）AM10:00~11:30 に行った。

医薬品適性使用推進機構理事長、鍋島俊隆が講師を務めた。

参加者は薬学部学生、教員、病院薬剤師、開局薬剤師など 57 名（世話人 3 名を含む）であった。

講演では薬剤師が患者さんに寄り添い、患者さんの一番大切にしていることを達成し、その QOL を高めるために、「薬物療法にどうかかわるか？」についてエールを贈った。薬剤師に期待することは、薬剤師が患者さんに薬物療法を介して、関与する前と後に、患者さんの QOL がどう変わったかを科学的に評価することである。そのためには、関与前後の患者さんの薬物療法のアウトカムをどうデータ化して記録するか？前後のデータを統計処理して、有意差のあるエビデンスを取り、学会や論文報告する。薬剤師仲間を増やして、データを蓄積し、薬剤師の職能として identity を示す。以上の点について、どう実行するかを、NOP J-DO 会員諸君が今まで報告した事例を具体的に紹介した。

講演後に学生、大学教員、薬剤師から、多くの質問があり、手ごたえを感じた。

講演後は医療薬学関連の教員、薬剤師会会員 16 名と一緒に弁当を食べながら、全ての席者からの多彩な質問に答えた。

以上